

第 1 9 2 5 回 埼 玉 県 教 育 委 員 会 定 例 会

- 1 日 時 令和 4 年 2 月 1 8 日 ( 金 ) 午前 1 0 時 開 会  
午前 1 0 時 3 2 分 終 了
- 2 場 所 埼 玉 県 教 育 局 教 育 委 員 会 室
- 3 出 席 者 高 田 教 育 長、遠 藤 教 育 長 職 務 代 理 者、石 川 委 員、戸 所 委 員、坂 東 委 員、小  
林 委 員、萩 原 副 教 育 長、佐 藤 教 育 総 務 部 長、日 吉 県 立 学 校 部 長、石 井 市 町  
村 支 援 部 長、関 根 財 務 課 長、小 谷 野 生 涯 学 習 推 進 課 長  
栗 原 書 記 長、岩 崎 書 記、原 口 書 記、星 野 書 記
- 4 会 議 の 主 宰 者 高 田 教 育 長
- 5 会 議
- (1) 前 回 議 事 録 の 承 認
- 全 出 席 委 員 異 議 な く 本 件 記 載 ど お り 承 認
  - 高 田 教 育 長 が、小 林 委 員 を 議 事 録 の 署 名 者 に 指 名 し た。
- (2) 報 告 事 項
- ア 県 議 会 令 和 4 年 2 月 定 例 会 提 出 予 定 案 件 に つ い て
- 関 根 財 務 課 長 ( 提 出 理 由、専 決 処 理 し た 理 由、専 決 処 理 の 状 況 に つ い て 説 明 )
- イ 地 域 と 連 携 ・ 協 働 し た 教 育 の 推 進 に つ い て
- 小 谷 野 生 涯 学 習 推 進 課 長 ( 提 出 理 由、概 要、お が わ 学 で 目 指 す 児 童 生 徒 像、お が わ  
学 の 取 組、取 組 の 成 果、今 後 の 方 向 性 に つ い て 説 明 )
- 遠 藤 教 育 長 職 務 代 理 者 平 成 1 8 年 に 教 育 基 本 法 が 改 正 に な り、第 1 3 条 が 規 定  
さ れ、学 校、家 庭 及 び 地 域 住 民 は、相 互 に 連 携 や 協 力 す る こ と と な り ま し た が、  
生 涯 学 習 と な る と、地 域 活 動 が 多 く だ う し て も 学 校 の 活 動 と 結 び つ か な い 面 が  
あ り ま し た。総 合 的 な 学 習 の 時 間 で 地 域 の 教 育 資 産 を 活 用 し て、積 極 的 に 授 業  
を や り な さ い と な っ て い ま す が、な か な か こ こ ま で で き ま せ ん で し た。そ う い っ

た意味では「おがわ学」は良い事例だと感じました。総合的な学習の目標は、学校と地域の発展ということがあります。今は地域を理解していく段階ではなく、どうやって地域を発展させていくかが必要だと感じています。そういった意味では非常にいい試みであると思いました。

小谷野生涯学習推進課長 これからは、学校が地域の力を借りて学校運営するだけではなく、学校の力をいかに地域に返していくか、双方向の関係をもっと築いていくことが必要だと考えています。それぞれの地域の特性に応じた形で活動していくことを目指していきたいと考えています。

戸所委員 すばらしい試みだと思います。小・中・高等学校別の冊子を作成し、小・中・高等学校の先生が連携しているのを見て、生徒も地域もが活性化していくのだなと思いました。国の支援は、今年度をもって終了するとの説明がありました。この事業は続けていかななくては意味がないと思います。8ページの今後の方向性で、(1)のおがわ学の授業内容の研究・実践は、誰が責任者でやっていくのか、どこの地域がリードしていくのか、また、(2)の地域との連携・協働体制の活性化は誰が考えていくのか、具体的に責任者や責任部署を決めないと続かないのではないかと感じました。

小谷野生涯学習推進課長 我々としても、これからは主体的に自走できる体制を目指しています。8ページの今後の方向性の(1)と(2)は、小川高校が中心となって、町や地元企業と連携して体制作り、学習の充実を進めていきます。(3)の全県的な普及については、おがわ学を良い題材として、我々が他の地域や学校にも積極的に進めていきたいと考えています。

高田教育長 地域と共に学ぶことは、小・中学校は、地域の子供たちであり、やりやすいところもありますが、高校は通学範囲が広いため、高校がいかに地域と連携できるかが大きな課題です。小川町は高校が一枚しかなく、町の学校であり、町役場も町長も非常に協力していただいて、盛り立てていただきました。地域は、良く見ればたくさんの地域資源があり人材もいらっしやいます。小川高校の生徒は、コロナ禍で直接訪問することはなかなかできませんが、オンラインを通じて商店の話聞く、工場を見学させてもらうことができるようにな

り、以前に比べれば、学校にいながら地域の教材を使用して学ぶことがやりやすくなっています。高校においても地域に根差した学校づくりというのは一つの大きなテーマであり、地元の小・中学校と連携して、高校がリーダーシップを発揮し、おがわ学のような取組を更に進めていきたいと考えています。

坂東委員 文部科学省の指定事業は、埼玉県ではおがわ学の一つだけでしょうか。

小谷野生涯学習推進課長 そのとおりです。

坂東委員 私たちの子供の頃も同じでしたが、自分たちの郷土が載っているテキストが小・中学校にあり、学んでいると思います。そういったテキストにおがわ学を応用し、広げると他の市町村にも参考になると思います。そういったことに関し、各市町村の申し出があったりするのでしょうか。

小谷野生涯学習推進課長 おがわ学のフォーラムでは、他の市町村教育委員会も参加し、参考にされています。また、既存のテキストは、地域を知ること重点が置かれていると思いますが、そこから地域課題を解決することなどの要素があれば、おがわ学のテキストのようにできると思いますので、市町村に情報提供をしていきたいと考えています。

坂東委員 市町村が配布する冊子がバージョンアップされることにより、子供たちや郷土に住まれている方が興味を持たれると思いますので、応用していくと持続的に県内で発展していくと考えます。是非進めていただければと思います。

### (3) 次回委員会の開催予定について

3月10日(木) 午前10時